

■ (11) 朝日新聞の紙面構成は—2

2011. 12. 16

各紙面の名称は欄外に書かれています。奇数面（ページ）では左端上、偶数面（ページ）では右端上です。ところが最近の2、3、4面などには、紙面の名称について何も書かれていません。東日本大震災前までは、2、3面は総合面、そのあとに政治面が続いていました。

全面広告の紙面には、欄外上の中央に近いところに【全面広告】と入っています。その紙面を1枚抜いてみましょう。例えば、5、6面のどちらかが全面広告の場合、この反対側の35、36面のどちらかが全面広告になっていることが多いのです。また、朝日新聞では、全面広告を表裏2ページや見開き2ページに置いて、迫力ある紙面にする工夫もみられます。新聞の外側の紙面2枚（1～4面と37～40面）には、全面広告はありません。紙面構成をよくみると、広告をどの面にするか、どこに入れるかにも気を配っていることがうかがえます。

例外は休刊日前の日曜日だけで、この日は最終面が全面広告です。その休刊日ですが、一般的には読者や配達する側からみた、朝刊が配られない月曜日を指します。ただ、新聞社の編集部門では、新聞制作を休む日曜日を休刊日と呼ぶそうです。

全国新聞教育研究協議会・顧問 鈴木伸男